

令和8年度 学校経営計画書

石川県立鹿西高等学校

学校長 横田 禎

1 教育目標

- (1) 自発的に学習する態度を養い、知性及び創造性豊かな人間の育成をめざす。
- (2) 心身ともに健康で、洞察力や判断力のある人間の育成をめざす。
- (3) 自主・自律の心と責任感を高め、実践力と協調性のある人間の育成をめざす。
- (4) 豊かな情操と道徳心を培うとともに、郷土を愛し、地域で躍進しようとする人材の育成をめざす。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ①多様な進路志望実現のため、きめ細かい個別指導に取り組んでいるが、生徒の自発的な学習習慣を育成する必要がある。
- ②素直で礼儀正しい生徒が多いが、積極性・自主性に欠ける傾向が見られる。
- ③地域住民と共同した防災避難訓練を実施する等、地域と連携した活動を推進し、生徒の社会貢献に対する意識を高めている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ①進路実現に向けて自ら考えて計画を実践することができる人間、生涯にわたって学び続けることができる人間の育成をめざす。
- ②豊かな心と健康な身体の保持増進に努めるとともに、安全を意識して行動する人間の育成をめざす。
- ③地域に誇りを持ち、実践力と社会性を身につけ、将来、地域に貢献する人間の育成をめざす。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ①全教職員が生徒一人一人に対する理解を深め、個に応じた教育を実践する。
- ②教職員の学校経営参画意識の向上を図るとともに、保護者や地域社会との連携を強化し、生徒の実践力と社会性を向上させる。
- ③関係機関と連携しながら安全・安心な体制整備に努め、地域から信頼される学校組織となる。

3 今年度の重点目標

(1) 学習習慣の確立と教科指導力の向上

- ①学ぶ楽しさや充実感、達成感によって笑顔が得られる授業を展開し、生徒が自ら計画を立て、進んで学習に向かう力を育成する。
- ②若手教員早期育成プログラム、中高連携（中能登中学校との学習交流会等）、他校への授業参観、大学入試問題研究の推進等により指導力の向上に努める。
- ③GIGA 校内研修推進リーダーを中心とした校内研修を通じて生徒の ICT 活用を促進させ、全教員の ICT 活用指導力を高め、多様な生徒たちの「深い学び」を確かなものにする。

(2) コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進し、「日本一 生徒が伸びる 鹿西高」を目指す

- ①保護者や地域とのつながりを活かして、総合的な探究の時間、学校行事、部活動、ボランティア活動で生徒の学びを深め、豊かな人間性や社会性を育む。
- ②保護者や地域とともに本校が行う活動や小学校・中学校との交流機会を増やし、本校の教育活動に対する理解が深まるように努める。
- ③広報活動の充実を図り、本校の特色や魅力を伝え、本校への志願者を増加させる。

(3) 防災教育の充実

- ①甚大災害を想定した避難訓練及び避難計画の見直しを行い、安全・安心な学校づくりに向けた活動を推進する。
- ②教職員・生徒が非常時に適切な行動ができる資質・能力を高める。